

プレスリリース
報道関係者各位

2018年10月29日

CYBERDYNE 株式会社
エルピクセル株式会社

CYBERDYNE と医療画像診断支援技術を開発するエルピクセルが提携 ～疾患の早期発見・診断・治療のための医療ビッグデータ解析の開発強化～

CYBERDYNE 株式会社（茨城県つくば市、代表取締役社長：山海嘉之、以下 CYBERDYNE 社）と、AI を活用した医療画像診断支援技術を開発するエルピクセル株式会社（東京都千代田区、代表取締役：島原佑基、以下 エルピクセル社）は、業務提携及び資本提携（CYBERDYNE 社からエルピクセル社への資本出資）を行いましたので、お知らせいたします。また、同時に、CYBERDYNE 社の子会社である CEJ キャピタル株式会社が運用するサイバニクス・エクセレンス・ジャパン 1 号投資事業有限責任組合（以下 CEJ ファンド）からも出資を行いました。エルピクセル社への出資は、CEJ ファンドの第 1 号出資案件となるものです。

本提携の背景と目的

CYBERDYNE 社では、HAL やバイタルセンサーなど CYBERDYNE 社が開発するサイバニクデバイス・サイバニックインターフェースから得られる身体情報や生体情報などのビッグデータを活用することによって、疾患の早期発見・診断・治療法の開発を推進しています。エルピクセル社は AI を活用した医療画像解析技術に強みを持っており、両社の保有する技術を複合融合することにより、医療画像ビッグデータも含めた革新的な医療技術の開発を目指し、今回の提携が実現しました。

両社は、今回の提携により、「人」と「機械」と「情報系」の機能的・有機的・社会的融合複合であるサイバニクス産業の創出を共同で推進してまいります。

<エルピクセル株式会社について>

エルピクセル株式会社は、ライフサイエンス領域の画像解析に強みを持つ東京大学発のベンチャー企業です。医療・製薬・農業などのライフサイエンス領域に対して画像解析技術と人工知能技術を応用することで、高精度のソフトウェアを開発してきました。現在、東京大学や国立がん研究センターをはじめ複数の医療機関と連携し、人工知能を活用した医療画像診断支援の研究開発を進めています。

<CYBERDYNE 株式会社について>

CYBERDYNE 株式会社は、2004 年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、サイバニクス技術を活用した革新的サイバニックシステム（サイバニックデバイス、サイバニッ

クインタフェースなど)により、社会が直面する様々な課題を解決することを目指し、研究開発から社会実装に至るまで一貫して推進しています。医療、福祉、生活(職場環境を含む)分野での事業推進を行い、主力製品のロボットスーツ HAL®は、医療・福祉の分野のみならず、介護や重作業分野等にも幅広く展開されています。また、人工知能・環境認知機能を搭載した清掃ロボット・搬送ロボット、腰部負荷を低減する HAL 腰タイプ、小型の単関節 HAL、動脈硬化度・不整脈計測用バイタルセンサー、発話や身体動作が著しく困難な方の意思伝達や機器操作を可能にする Cyin®など、次々と新製品開発を進めています。

詳細については、<https://www.cyberdyne.jp/> をご参照ください。

お問い合わせ先

CYBERDYNE 株式会社

広報・IR 担当 TEL : 029-869-9981

エルピクセル株式会社

広報担当 TEL : 03-6327-3992